

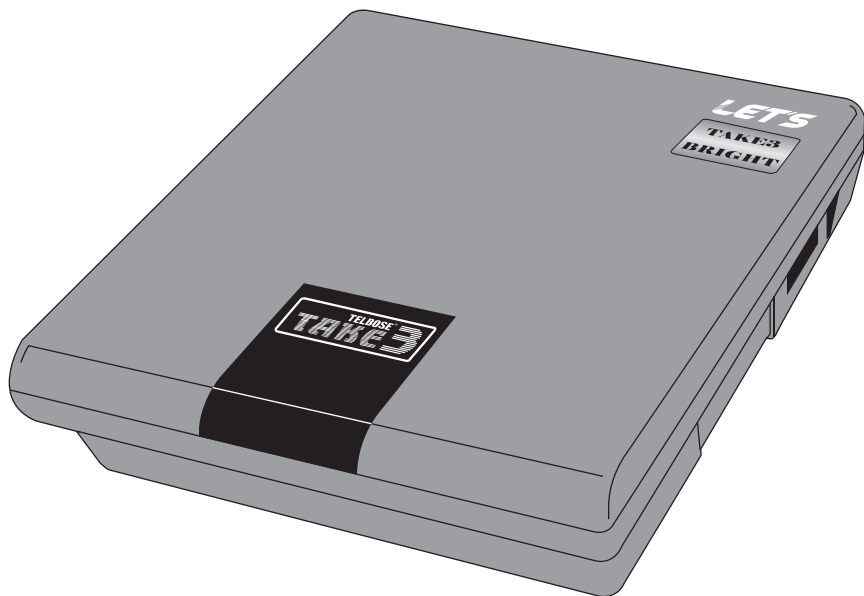
回線切替装置

TELBOSE[®]

TAKES

BRIGHT

取扱説明書



LET'S 今、求められるニーズを corporation
株式会社 **レッツ** コーポレーション

Ver 1.0
(081128)

はじめに

この度は、TELBOSE TAKE3 BRIGHT(以降、テイク3
ブライトと記述)をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
います。

テイク3ブライトは1本の電話回線に電話機、FAX、モデム等を
接続し、自動切替できる装置です。この説明書を良くお読みいただき、
テイク3ブライトの機能が十分発揮できますように正しくお取扱い、
運用いただきますようお願い申し上げます。この説明書は保証書、
付属品と共に大切に保管して下さい。

ご使用上の注意

- 本装置及び付属品の使用により生じた金銭上の障害逸失利益又は第三者から
のいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あら
かじめご了承ください。
- 本装置及び付属品は、改良の為予告なしに変更することがあります。
- 本装置の故障、誤動作、不具合あるいは停電等の外部要因によって、通話、
録音等の機会を逸したために生じた損害などの純粹経済損害につきましては
は、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意：本書の内容については、改良のため将来予告なしに変更することがあります。

目 次

1. テイク3ブライトを使用するための準備

1. 1	必ずお読み下さい	1
1. 2	回線接続の前に	5
1. 3	テイク3ブライトを利用した転送の注意	5
1. 4	商品構成	6
1. 5	外観及び名称と説明 背面図、上面図 右側面図、名称（説明）	7 8
1. 6	接続 回線との接続 電話機との接続 FAX、モデムとの接続 ACアダプタとの接続 ナンバーディスプレイ対応電話機の接続	9 9 10 10 11
1. 7	その他	12
1. 8	接続での注意	13
1. 9	停電の場合	13

2. 各モードの設定

2. 1	自動ベルモード	
1. 1	自動ベルモード（ノーマル回線）	14
1. 2	自動ベルモード（ナンバーディスプレイAモード）	15
1. 3	自動ベルモード（ナンバーディスプレイBモード）	16
2. 2	リモートモード	17
2. 3	FAXモード	18

3. 操作方法

3. 1	基本操作	
1	電話、FAX、モデムから発信したい時	19
2	掛かってきた電話をうける時	19
3	FAXが送られてきた時	19
4	電話をうけFAXから着信の時、通話中にFAXへ切替たい時	19
5	電話をうけモデムから着信の時、通話中にモデムへ切替たい時	20
3. 2	特殊操作	
1	受話器を戻すだけでFAXへ切替えることができます（オフフック転送）	21
2	電話が掛かってきて留守などで出られない時	21
3	発信側より直接テイク3ブライトのモデム端子を呼び出し	22
4	ボイスワープを利用して電話着信を転送することができます	23

4. メインディップスイッチ機能一覧

5. 故障と考えられる時

6. 設置手順と注意事項

7. 仕様一覧

8. ボイスワープ設定のクイックガイド

1. テイク3ブライトを使用するための準備

1. 1 必ずお読みください

この取扱説明書は、電話回線自動切替装置「テイク3ブライト」の取扱方法および各機能の操作方法について説明しています。

●安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止をまねく内容を示しています。

絵表示の例



- 記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中に具体的な禁止内容(左図は湿度の高い場所への設置禁止)を示しています。



- 記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中に具体的な禁止内容(左図は火気のそばへの設置禁止)を示しています。



- 記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中に具体的な禁止内容(左図は分解禁止)を示しています。



- 記号は行為を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図はACアダプタをコンセントから抜け)を示しています。

注意事項

■設置場所について

警告

- 湿度の高い場所への設置禁止
ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



注意

- 火気のそばへの設置禁止
本機や電源コードを熱器具等の発熱する物に近づけないでください。カバーや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 温度の高い場所への設置禁止
直射日光の当たるところや、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 油飛びや湯気が当たるような場所への設置禁止
調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 不安定な場所への設置禁止
ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
また、本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



注意

- 通風孔をふさぐことの禁止
本機(カバー)の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
 - ・あお向けや逆さまにする
 - ・じゅうたんや布団の上に置く
 - ・テーブルクロスなどを掛ける
 - ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む



お願い

- 本機を正常にまた安全に使用していただくために、次のような所への設置は避けてください。
 - ・ほこりや振動が多い場所
 - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置などが近くにある場所

■使用について

(1) もしもこんなときは

警告

● 発煙への対処

万一、煙が出ている、へんな臭いがあるなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機のACアダプタを抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店が当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



● 水が装置内部に入った場合の対処

万一、内部に水が入った場合は、すぐに本機のACアダプタを抜いて、ご購入店が当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 異物が装置内部に入った場合の対処

本機(カバー)の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本機のACアダプタを抜いてご購入店が当社サービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 電源コードが痛んだ場合の対処

電源コードが痛んだ状態(芯線の露出・断線など)のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機のACアダプタを抜いてご購入店が当社サービス取扱所に修理をご依頼ください。

(2) 電源について

警告

● 商用電源以外の禁止

AC100V 家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。また、やむを得ず同じ電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。



● ACアダプタ

専用のACアダプタ以外は絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



● 電源コードの取扱注意

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



● めれた手での操作の禁止

めれた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



● たこあし配線の禁止

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、たこあし配線はしないでください。火災・感電の原因となります。



注意

● アダプタの取扱注意

A Cアダプタを抜くときは、必ずA Cアダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● 乗ることの禁止

本機に乗ったり、こしかけたり、すわったり、よりかかたりしないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれてけがの原因となることがあります。



(3) 禁止事項について

警告

● 改造の禁止

本機を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

● ぬらすこと of 禁止

本機に水が入ったり、ぬらすぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。

● 異物を入れないための注意

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合は火災・感電・故障などの原因となります。



(4) その他のご注意

注意

● 雷のときの注意

雷が激しいときは、A Cアダプタとモジュラーコードを抜いてください。万一落雷があった場合、火災・感電・故障などの原因となることがあります。雷が発生した際は、感電のおそれがあるので電源ケーブルなどに触れないようにしてください。

● A Cアダプタの清掃

A Cアダプタとコンセントの間のほこりは定期的(半年に1回程度)に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

● 長期不在のときの注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ずA Cアダプタをコンセントから抜いてください。



■ 日頃のお手入れ

汚れたら、A Cアダプタを抜いてから乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと乾いた布でふきとってください。化学雑巾の使用は避けてください。

1. 2 回線接続の前に

- テイク3ブライスは（財）電気通信端末審査協会の認定品です。
- 2線式の電話回線に使用することができます。4線式等の電話回線には接続できません。
- P B X、ボタン電話の内線に接続する場合、電氣的仕様がN T Tと同じかどうか確認してください。仕様がN T Tと異なりますと機能が正常に働かないことがあります。
- 仮着信方式を使用しておりますので、自動ベルモードでお使いの場合、先方は呼出し中も課金されます。
- キャッチホンは接続できません。
- ピンク電話（硬貨収納信号送出サービス加入）回線にテイク3ブライスの接続はできません。（販売店にお問い合わせください。）
- ナンバーディスプレイサービス回線にも接続できますが、ナンバーディスプレイ対応電話機が必要になります。
また、接続されるナンバーディスプレイ電話機によってはテイク3ブライツ、電話機などが正常に動作しない場合があります。なお、仕様上F A X受信の際も、電話機が数回鳴動することがあります。
- 接続される電話回線またはT Aによっては、正常に動作しない場合があります。
- 留守番電話機は接続できますが、機種によっては正常に動作しない場合があります。
- F ネット1300Hz無鳴動サービスには使えません。

1. 3 テイク3ブライツを利用した転送の注意

- N T Tアナログ回線のボイスワープサービスに加入する必要があります。
ただし、I N S 6 4、ひかり電話のボイスワープサービスには対応していません。
- 転送先は、1カ所の登録になります。複数箇所は対応していません。
- ご利用になれる回線はプッシュ回線のみとなり、ダイヤル回線でのご利用はできません。

1. 4 商品構成

セットを確認してください。

ご使用いただく前に、次のものが全部そろっているか確認してください。

万一、足りない場合は、お手数ですがお買い上げの販売店または、弊社までご連絡ください。

株式会社 **レッツ** コーポレーション

本社：〒460-0002 名古屋市中区丸の内2丁目6-10
レッツ丸の内本社ビル

TEL (052) 201-6230

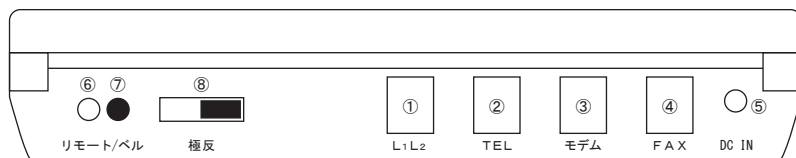
FAX (052) 201-5050

メール support@lets-co.co.jp

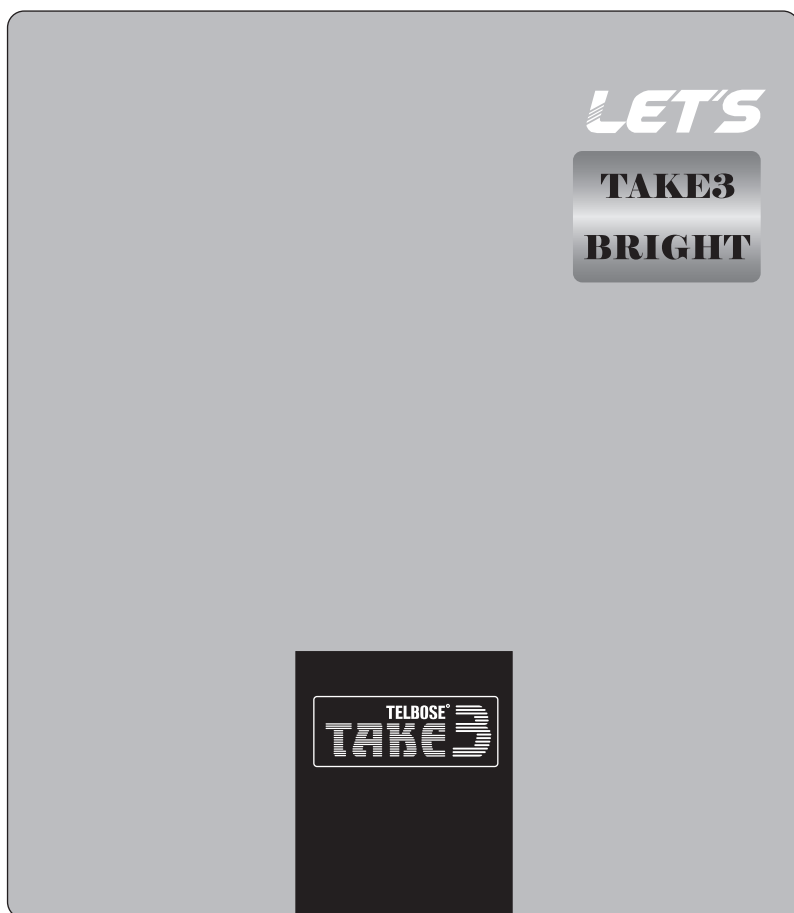
1	テイク3ブライト 本体	1台
2	ACアダプタ (DC15V、400mA、センターマイナス)	1個 (コードの長さ：1.8m)
3	モジュラーコード (先端、終端ともにモジュラー)	2本 (コードの長さ：2.0m) (ストレート、クロス各1本)
4	取扱説明書	1冊
5	保証書 (取扱説明書内)	

1. 5 外観及び名称と説明

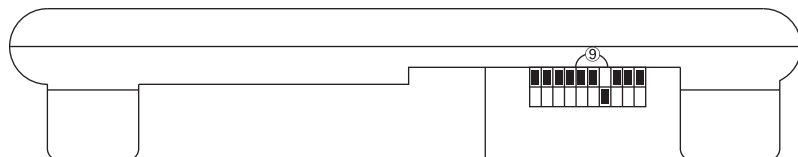
1. 背面図



2. 上面図



3. 右側側面



4. 名称(説明)

	名 称	は た ら き
①	回線接続用モジュラー端子	回線とテイク3ブライトを接続するコネクタです。
②	電話機接続用モジュラー端子	電話機、留守番電話機を接続するコネクタです。
③	モデム接続用モジュラー端子	モデムを接続するコネクタです。
④	FAX接続用モジュラー端子	FAXを接続するコネクタです。
⑤	電源アダプタ接続用ジャック	付属のACアダプタを接続してください。
⑥	リモートランプ	点灯(緑)はリモートモード設定時、 点滅(緑)はボイスワープ作動中です。
⑦	自動ベルモード	自動ベルモード設定時に点灯(赤)します。
⑧	極性反転スライドスイッチ	回線側の極性を入れかえます。
⑨	10連ディップスイッチ	各種設定を行うスイッチです。

参 考……図は出荷時の設定です。

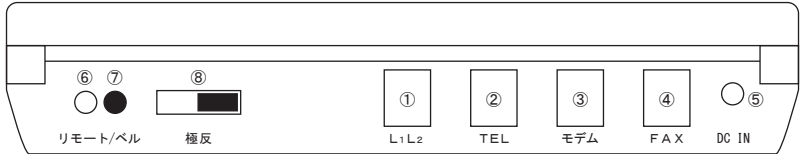
注意

ディップスイッチのカバーを開けるときは、⊖ドライバーなどを使用してください。ケガの原因となることがあります。

1. 6 接続

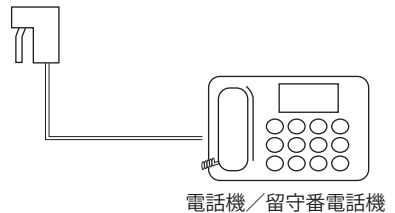
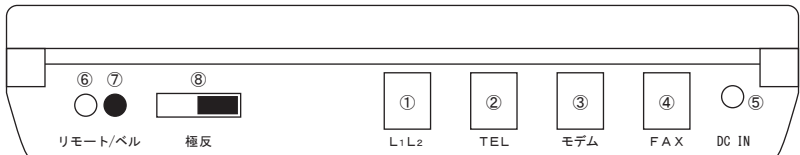
1. 回線との接続

付属のコード等で①に接続します。



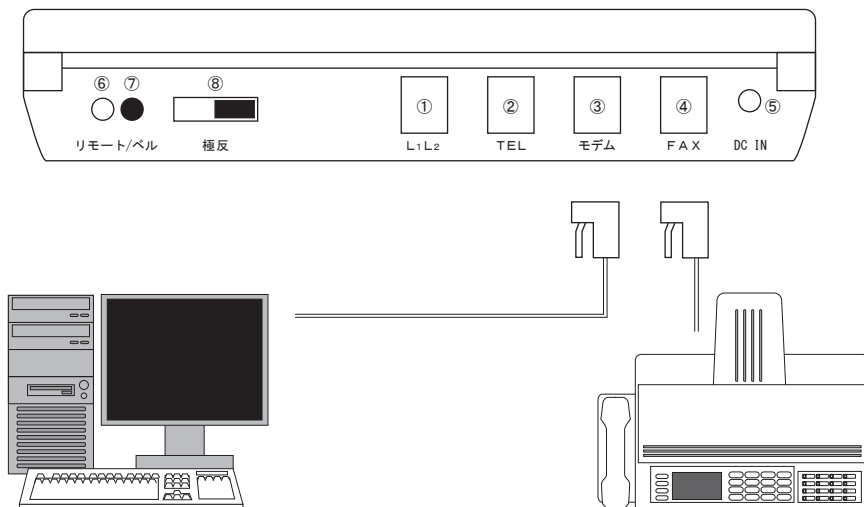
2. 電話機との接続

付属のコード等で②に接続します。



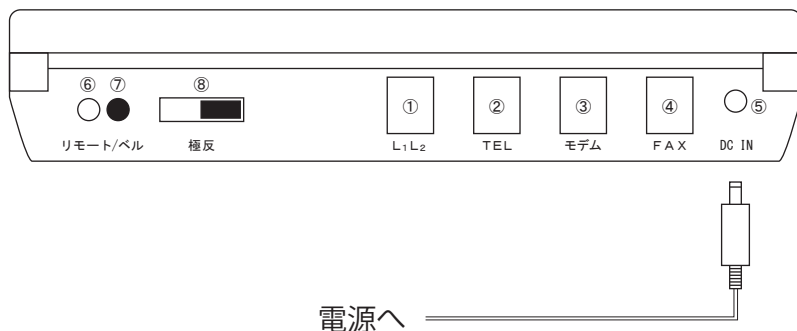
3. FAX、モデムとの接続

FAXは付属のコード等で④に接続します。
モデムは付属のコード等で③に接続します。



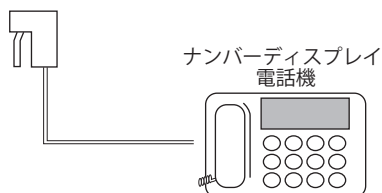
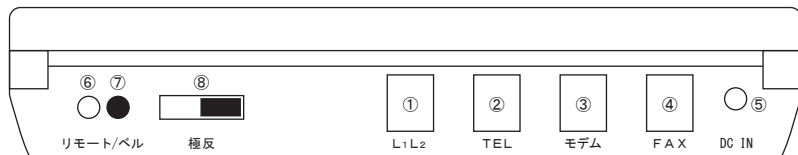
4. ACアダプタとの接続

付属のACアダプタを使用し、⑤に差し込んで下さい。
電源はAC100V、50 / 60Hz以外では使用しないで下さい。



5. ナンバーディスプレイ対応電話機の接続

付属のコード等で②に接続します。



注 意

- ① テイク3 ブライトをナンバーディスプレイAモード・ナンバーディスプレイBモードにして、ナンバーディスプレイを有効にしてください。(P.21を参照)
- ② モードはリモート／自動ベルモードのどちらでも使用できますが、接続される電話機によっては、正常に動作しない場合があります。
※ ②について、極反スイッチを左右に切替え、電源をOFF/ONすると正常に動作する場合があります。

動 作

- ① FAX着信時、ナンバーディスプレイ電話機が2～3回鳴動しますが故障ではありません。
- ② ①以降の機能は通常のリモート／自動ベルモードと同じです。
- ③ 本機能を使用時には、自動モード切替を無し(ディップスイッチ8を無し(上))で使用して下さい。発信・着信ができなくなる場合があります。

1. 7 その他

極性反転スライドスイッチ（背面スライドスイッチ⑧）

回線側（L₁、L₂）の極性を入れ替えることができます。

設定時にテイク3ブライートの回線側の極性を入れ替えたい（L₁、L₂を反対にする）時に使用します。

瞬断検知スイッチ（側面ディップスイッチ⑨）

テイク3の着信時に発信側の切断を検知する場合、通常はビジートーンを検知しますが、CPC信号（瞬断信号）もあわせて検知する場合に有り（上）にします。

※ノイズ等が多い場合は使用しないで下さい。ノイズをCPC信号と認識し、切断する場合があります。

1. 8 接続での注意

1. テイク3ブライトに関する注意事項

- ・テイク3ブライトは極性に指定はありませんが、接続する電話機/FAX/モデムは極性の指定がある機種があります。
- ・「外部ベル」をご使用のお客様はTEL端子に並列接続して下さい。
- ・テイク3ブライトをPBX内線/専用線等に接続した場合に、発信側が電話の呼出し中に切ってもテイク3ブライトに接続した電話のベルが所定の回数鳴動する可能性がありますのでご注意ください。

2. 電話機に関する注意事項

- ・電話機/留守番電話等、電話着信時に応答する端末をTEL端子に接続して下さい。
- ・ホームテレホン/ビジネスホン/交換機等を接続する場合、TEL端子から各装置の回線接続端子へ接続して下さい。

3. FAXに関する注意事項

- ・テイク3ブライトからの配線はFAX本体の回線接続端子（L1L2、LINE等）に接続して下さい。
- ・FAXは自動受信に設定して下さい。また、FAXの自動切替は解除して下さい。相手機種により受信ができなくなる可能性があります。
- ・FAX本体に発信機能が内蔵されていない時は、必ず発信用の電話機をFAX本体に接続して下さい。
- ・本体に電話機が内蔵されているFAXであっても、電話着信時にこの電話機で応答することはできません。電話着信時の応答は、TEL端子に接続された電話機から行って下さい。

4. モデムに関する注意事項

- ・テイク3ブライトからの配線はモデム本体の「LINE端子」に接続して下さい。
- ・通常は自動着信の設定で使用して下さい。

1. 9 停電の場合

- ・TEL端子のみ使用可能です。必ず、電話機はTEL端子へ接続して下さい。

2. 各モードの設定

2. 1.

2. 1. 1

自動ベルモード (初期状態：ノーマル回線)

電話とFAXを自動的に切替えます。着信するとテイク3ブライツが自動応答します。
FAX信号を検知するとFAXへ切替えます。FAX信号がない場合、電話機を呼出します。

自動ベルモードで使用するためのスイッチ設定

スイッチ	モード切替ディップスイッチ	CNG検知スイッチディップスイッチ	ランプ状態
設定	1番「上」 2番「上」	3番「上」	⑦点灯(赤)

※上図「ランプ状態」については、7ページの [1. 背面図](#) を参照して下さい。

※留守などで電話にでることができなかった場合でも電話を掛けてこられた方は課金されます。

※発信側・受信側の双方にテイク3ブライツが設置してある時、**ディップスイッチ7を有り(上)**に設定する事により電話番号をダイヤルするだけでモデムの自動切替も行えます。

※電話機の呼出しベル回数は約30回(約90秒)以上です。約30回以内に応答がない場合、切断します。仮着信し、約8秒経過後に電話呼出しを開始します。FAX/モデムからの着信の時、検知した時点で呼出しを開始します。掛けてこられた方には、応答までリングバックトーン(疑似呼出し音)を送出します。

2. 1. 2

自動ベルモード (ナンバーディスプレイAモード)

ナンバーディスプレイ回線を接続した場合、電話とFAXを自動的に切替えます。

FAX信号を検知するとFAXへ切替えます。

FAX信号が無い場合、電話機を呼出します。

ナンバー情報信号はスルー（直通）状態になりますので、FAX着信時でも電話機が鳴動します。電話機が鳴動しナンバーディスプレイ情報を表示したのち、FAX側の鳴動を開始します。

自動ベルモード (ナンバーディスプレイAモード) で使用するためのスイッチ設定

スイッチ	モード切替ディップスイッチ	CNG検知スイッチディップスイッチ	ランプ状態
設定	1番「下」 2番「下」	3番「上」	⑦点灯(赤)

※上図「ランプ状態」については、7ページの [1. 背面図](#) を参照して下さい。

※留守などで電話にできなかった場合でも電話を掛けてこられた方は課金されます。

※発信側・受信側の双方にテイク3ブライツが設置してある時、[ディップスイッチ7を有り（上）](#)に設定する事により電話番号をダイヤルするだけでモデムの自動切替も行えます。

※電話機の呼出しベル回数は約30回（約90秒）以上です。約30回以内に応答がない場合、切断します。仮着信し、約8秒経過後に電話呼出しを開始します。FAX/モデムからの着信の時、検知した時点で呼出しを開始します。掛けてこられた方には、応答までリングバックトーン（疑似呼出し音）を送出します。

2. 1. 3

自動ベルモード (ナンバーディスプレイBモード)

ナンバーディスプレイ回線を接続した場合、電話とFAXを自動的に切替えます。

FAX信号を検知するとFAXへ切替えます。

FAX信号が無い場合、電話機を呼出します。

テイク3ブライスはナンバー情報をメモリし、電話着信時にはそれを再送出するので、FAX着信時には電話は鳴動せずにFAXの着信ができます。

※回線の状況、送信側のファクシミリ機によっては鳴動する場合があります。

接続された電話機が着信してから鳴動するまでに5秒程度の時間がかかります。

自動ベルモード (ナンバーディスプレイBモード) で使用するためのスイッチ設定

スイッチ	モード切替ディップスイッチ	CNG検知スイッチディップスイッチ	ランプ状態
設定	1番「上」 2番「下」	3番「上」	⑦点灯(赤)

※上図「ランプ状態」については、7ページの **1. 背面図** を参照して下さい。

※留守などで電話にでることができなかった場合でも電話を掛けてこられた方は課金されます。

※発信側・受信側の双方にテイク3ブライスを設置してある時、**ディップスイッチ7を有り(上)** に設定する事により電話番号をダイヤルするだけでモデムの自動切替も行えます。

※電話機の呼出しベル回数は約30回(約90秒)以上です。約30回以内に応答がない場合、切断します。仮着信し、約8秒経過後に電話呼出しを開始します。FAX/モデムからの着信の時、検知した時点で呼出しを開始します。掛けてこられた方には、応答までリングバックトーン(疑似呼出し音)を送出します。

2. 2

リモートモード

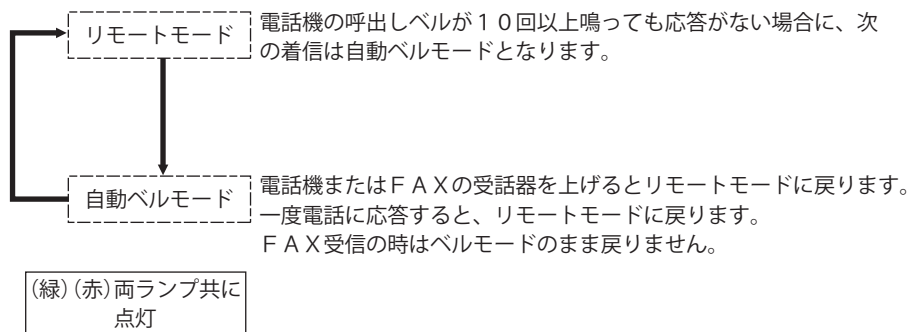
着信すると自動切替を行わずに、電話機を呼出します。応答後に電話機からのダイヤル操作で、FAX、モデム端子へ切替えます。(応答するまで課金はされません)

リモートモードで使用するためのスイッチ設定

スイッチ	モード切替ディップスイッチ	CNG検知スイッチディップスイッチ	ランプ状態
設定	1番「下」 2番「上」	3番「上」	⑥点灯(緑)

※上図「ランプ状態」については、7ページの **1. 背面図** を参照して下さい。

※電話機の呼出しベルが10回以上鳴っても応答がなく、掛けてこられた方が切った場合に次の着信は自動ベルモードとなります。



ご注意

上記の動作は、**ディップスイッチ8を有り(下)**にした時のみ働きます。
ナンバーディスプレイA・Bモードの時は、この機能は使えません。

2. 3

FAXモード

電話・FAX・モデム等全ての着信に対して、直接、FAXを呼出します。

FAXモードで使用するためのスイッチ設定

スイッチ	モード切替ディップスイッチ	FAXモード設定ディップスイッチ	ランプ状態
設定	1番「下」 2番「上」	6番「下」	⑥点灯(緑)

※上図「ランプ状態」については、7ページの **1. 背面図** を参照して下さい。

※FAXモードはリモートモードでしか設定できません。自動ベルモードで設定すると、誤作動が発生する場合があります。

※自動ベルモード(ナンバーディスプレイAモード / ナンバーディスプレイBモード)のときは、この機能は使えません。

※リモートモード時のナンバーディスプレイ回線の場合、オンフック転送は使用できません。

3. 操作方法

3. 1 基本操作

1 電話、F A X、モデムから発信したい時

- ・通常通りの発信操作をして下さい。

※他の端末が回線使用中の時、受話器から話し中の音がします。

2 掛かってきた電話をうける時

- ・電話機のベルが鳴ります。受話器を上げてお話し下さい。

3 F A Xが送られてきた時

- ・自動ベルモードであれば、テイク3ブライツがF A X信号を検知すると自動的にF A Xへ切替えます。F A X信号がない、又は、リモートモードの時は次項を参照してください。
(※F A X信号=C N G信号)

4 電話をうけF A Xから着信の時 通話中にF A Xへ切替えたい時

- ・電話機より「6」をダイヤルすると「ピッピッピ」と転送合図音が受話器より聞こえます。
すぐ（5秒以内）に受話器をお戻し下さい。
- ・電話機の呼出しベルが鳴り始めてから約1分経過すると通話中のF A X切替操作はできなくなります。

5 電話をうけモデムから着信の時 通話中にモデムへ切替えたい時

- 電話機より「8」をダイヤルすると「ピッピッピ」と転送合図音が受話器より聞こえます。
すぐ（5秒以内）に受話器をお戻し下さい。
- 電話機の呼出しベルが鳴り始めてから約1分経過すると通話中のモデム切替操作はできなくなります。

3. 2 特殊操作

1 受話器を戻すだけでFAXへ切替えることができます。 (オンフック転送)

- ・テイク3ブライトのディップスイッチ9を有り(下)に設定して、電話機の受話器を上げた場合に、相手がFAXであれば受話器を戻すだけでFAXへ切替えることができます。
- ・リモートモードでナンバーディスプレイ回線のとき、この機能は使えません。電話機より「6」をダイヤルして切替えて下さい。

※ディップスイッチの位置は、8ページの [3. 右側面図](#) を参照して下さい。

※接続回線(PBX内線、専用線等)によって、この機能が正常に動作しない場合があります。

2 電話が掛かってきて留守などで出られない時

- ・自動ベルモードでは、電話の呼出しベルを約30回鳴らします。応答がない時は回線を切断します。
- ・リモートモードでは、掛けられた方が呼出しを止める(電話を切る)まで電話機を呼出します。

※リモートモードの時、テイク3ブライトのディップスイッチ8を有り(下)に設定しておく事により、10回以上呼出して応答がなかった時、次の着信は自動ベルモード動作します。

※ディップスイッチの位置は、8ページの [3. 右側面図](#) を参照して下さい。

3 発信側より直接テイク3ブライートのモデム端子を呼出す事ができます

- 発信側、受信側の双方にテイク3ブライートが設置してある場合、**ディップスイッチ7を有り(上)**に設定しておく事により、発信側モデムから電話番号をダイヤルするだけで受信側モデムを直接呼出す事ができます。
- 発信側にテイク3ブライートが設置されていない場合、発信側モデムから電話番号をダイヤルし、テイク3ブライートが応答した後に「8」のトーン信号(100msec)を送出してください。
- ※**ディップスイッチ7を有り(上)**に設定すると、テイク3ブライートが着信した時点で送信先に「ピッ」と音を返します。
- ※テイク3ブライートは必ず自動ベルモードに設定して下さい。
- ※トーン信号はテイク3ブライートが応答した後、8秒以内に送出して下さい。テイク3ブライートのリングバックトーンと重なると検知できない場合があるため、トーン信号は連続(2~3回)送出して下さい。

3. 3 操作での注意

- プッシュ信号を送出する電話機から「6」をダイヤルしても転送合図音が聞こえない場合は「66」と「6」を2回続けてダイヤルして下さい。
- 切替操作は電話機の呼出しベルが鳴り始めてから約1分経過すると通話中でのFAX又はモデムへの切替操作はできなくなります。
- FAX、モデムへの切替えは電話着信時に可能です。電話発信時には切替えできません。

4 ボイスワープを利用して電話着信を転送することができます。

- ・アナログのボイスワープサービスに対応しています。INS64やひかり電話のボイスワープサービスには対応していません。
- ・契約回線がプッシュ回線でないご利用になれません。
- ・あらかじめ、NTTボイスワープサービス「応答後転送を利用する」の設定をします。

・NTTボイスワープサービス「応答後転送を利用する」の設定を行います。

※NTTのボイスワープを「転送開始」にしている場合は、あらかじめ「転送停止」にします。

受話器を上げ、**1 4 2** とダイヤルします。

ガイダンスが流れますので、続けて、**4** とダイヤルします。(初期設定)

ガイダンスが流れますので、続けて、**5** とダイヤルします。(応答後転送の設定)

ガイダンスが流れますので、続けて、**1** とダイヤルします。(応答後転送ありに設定)

ガイダンスが流れますので、続けて、**9** とダイヤルします。(操作の終了)

「ブーツ、ブーツ…」と聞こえたら設定完了です。受話器を置きます。

※NTTのボイスワープを「転送開始」にする必要はありません。「転送停止」にしてください。

・ボイスワープの転送先電話番号の登録

受話器を上げ、*** 9 9 9 9** とダイヤルします。

続けて、*** # 2 0 0** とダイヤルします。

次に転送先電話番号を入力します。(例：転送先を携帯電話 090-1234-5678 としたとき)

例) **0 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8**

最後に、**#** を押して、受話器を置きます。

・転送を開始する

電話／FAXの着信をテイク3ブライトが切り分け、電話着信の場合のみ指定した転送先電話番号へ転送を行います。

受話器を上げ、 *** 9 9 9 9** とダイヤルします。

続けて、 *** # 2 0 1** とダイヤルします。

最後に、 **2 #** とダイヤルして、受話器を置きます。

・転送を停止する

テイク3ブライトのボイスワープ設定を解除します。

受話器を上げ、 *** 9 9 9 9** とダイヤルします。

続けて、 *** # 2 0 1** とダイヤルします。

最後に、 **1 #** とダイヤルして、受話器を置きます。

ポイント

- ・転送先の電話番号は、テイク3ブライトの電源を切っても消えません。
- ・転送先電話番号は「184」・「186」などの番号を含めて登録することができます。
- ・NTTの一部の番号はテイク3ブライトの転送先電話番号として登録はできますが、転送動作は行いません。 例)「117」、「114」など

4. メインディップスイッチ機能一覧

スイッチNo.	はたらき	設定	備考
1	モード切替	<input checked="" type="checkbox"/> 上	ナンバーディスプレイ回線の自動ベルモード
		<input type="checkbox"/> 下	
2	モード切替	<input checked="" type="checkbox"/> 上	ナンバーディスプレイ回線の自動ベルモード A
		<input type="checkbox"/> 下	
3	CNG検知	<input checked="" type="checkbox"/> 上	CNG (NCNG) の検知をする、しないの切替スイッチです。
		<input type="checkbox"/> 下	
4	メンテナンス用	<input checked="" type="checkbox"/> 上	常に上にしておいてください。
		<input type="checkbox"/> 下	
5	CNG検知時間	<input checked="" type="checkbox"/> 上	CNG検知時間の変更をします。*
		<input type="checkbox"/> 下	
6	FAXモード	<input checked="" type="checkbox"/> 上	FAXモードをオンにするかオフにするかのスイッチです。
		<input type="checkbox"/> 下	
7	トーン送出	<input type="checkbox"/> 上	対向サービスの為のトーンを送出するか、しないかのスイッチです。
		<input checked="" type="checkbox"/> 下	
8	自動モード切替	<input checked="" type="checkbox"/> 上	リモートモード設定時、10回コールでなかった場合、自動ベルモードに移行するかしないかを設定するスイッチです。
		<input type="checkbox"/> 下	
9	オンフック転送	<input checked="" type="checkbox"/> 上	オンフック転送をするか、しないかの設定をするスイッチです。
		<input type="checkbox"/> 下	
10	瞬断検知	<input checked="" type="checkbox"/> 上	相手側が通話を切断した場合、瞬断信号を検知するか、しないかを設定するスイッチです。
		<input type="checkbox"/> 下	

※この設定を「下」(5秒間)にしますと、電話/FAXへの着信時間は早くなりますが、FAXへの切替ができなくなる場合があります。

<ディップスイッチ初期位置>

上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

白抜文字は初期設定

5. 故障と考えられる時

一度、各項目をご確認して下さい。

症 状	確 認 及 び 対 処
ランプがいずれも点灯していない	<ul style="list-style-type: none"> ・ACアダプタが抜けていませんか (→P10) ・アダプタがコンセントから外れていませんか
電話、FAX、モデムから発信できない 発信しようとすると話し中の音がして発信できない	<ul style="list-style-type: none"> ・回線はテイク3ブライトのL₁L₂に接続されていますか (→P9) ・各端末のダイヤル、プッシュの設定は合っていますか ・他の端末が回線を使用していませんか ・極性は合っていますか (→P12・23) ・極性反転を検知していませんか
電話が受けられない 電話のベルが鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> ・電話機はテイク3ブライトのTEL端子に接続されていますか (→P9) ・電話機のベルが止めてありませんか
FAXが受信できない	<ul style="list-style-type: none"> ・FAXは自動受信になっていますか ・FAXの記録紙はありますか ・FAXの電源は入っていますか ・FAXはテイク3ブライトのFAX端子に接続されていますか (→P10) ・送信側FAXからFAX信号は送出されていますか ・送信側FAXがFネットを利用していませんか
モデムが受信しない	<ul style="list-style-type: none"> ・モデムは自動受信になっていますか ・モデムの電源は入っていますか ・モデムはテイク3ブライトのモデム端子に接続されていますか (→P10) ・テイク3ブライトは自動ベルモードになっていますか
電話機から「6」、「8」をダイヤルしてもFAX、モデムに切替わらない	<ul style="list-style-type: none"> ・「6」、「8」をダイヤル後、すぐに受話器を戻していますか (→P15) ・FAX、モデムはテイク3ブライトに正しく接続されていますか (→P10) ・FAX、モデムの電源は入っていますか ・FAX、モデムは自動受信になっていますか
発信側が電話を呼出中に課金されてしまう	<ul style="list-style-type: none"> ・自動ベルモードになっていませんか (→P14~17)
NTTの転送サービスが利用できない	<ul style="list-style-type: none"> ・契約しているボイスワープはアナログですか (→P23) ・設定の有効化や転送先番号の登録などは正しいですか
発信側が電話呼出し中に切っても呼出しベルが鳴る	<ul style="list-style-type: none"> ・PBX内線／専用線に接続していませんか (→P12)

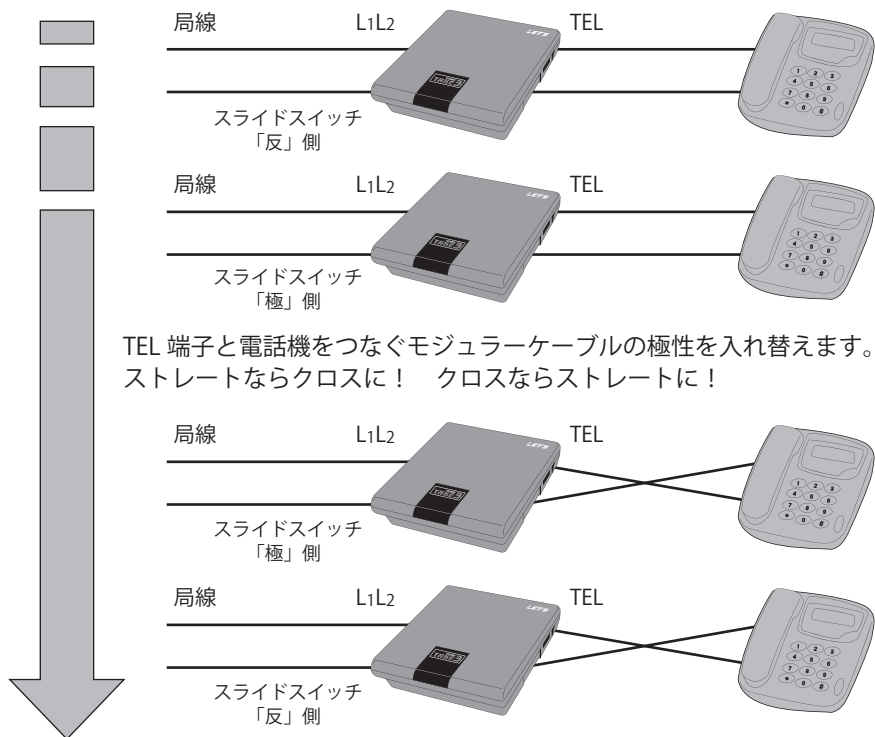
6. 設置手順と注意事項

設置手順 1 停電時などの極性合わせ

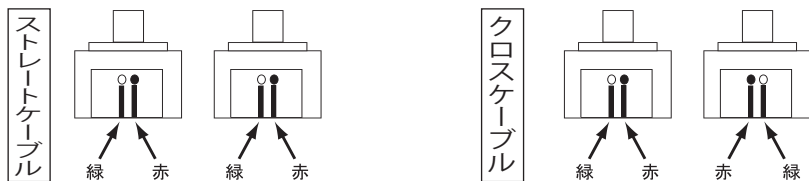
テイク3ブライトの電源はOFFの状態です。

- 準備1 局線をテイク3ブライトのL1L2に接続します。
- 準備2 電話をテイク3ブライトのTEL端子に接続します。
- 準備3 電話機で発信と着信ができることを確認します。

電話機から発信、着信が正しくできない場合は、以下の手順で極性を合わせます。
(4通り)



ストレートケーブル、クロスケーブルが各1本ずつ添付されています。



※ 1本のモジュラーケーブルの両端を並べて見た図

設置手順2 テイク3ブライトの電源をONにします

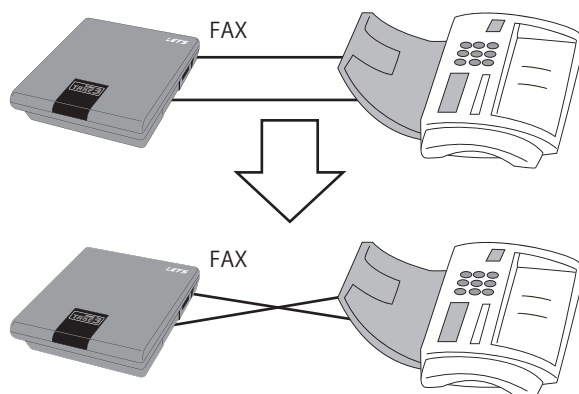
<確認> 電話機から発信、着信が正しくできましたか？

うまくいかない場合は、TEL 端子と電話機のモジュラーコードの極性を入れ替えて、再度、電話機から発信、着信ができることを確認してください。

設置手順3 ファクシミリを接続します

<確認> ファクシミリで発信、着信が正しくできましたか？

うまくいかない場合は、FAX 端子とファクシミリのモジュラーコードの極性を入れ替えて、再度、電話機から発信、着信ができることを確認してください。



極性違い(+、-)によるファクシミリの動作

- ファクシミリから発信できない。
- 自動発信ができない。(オンフックボタン発信はOKなど)
- ダイヤルを止めてしまう。

その他の注意

- ◇ ファクシミリの着信ベル回数は2回以上に設定してください。
- ◇ 極性合わせ工事を実施後は必ず最後に電話機とファクシミリによる発信、着信が正常であることを確認してください。

7. 仕様一覧

収 容 回 線 数	1 回線
接 続 端 末 数	3 端末
回 線 接 続 方 式	通信コネクタ
配 線 方 法	2 線スター
電 源	DC 15V、400mA (センターマイナス)
消 費 電 力	4VA
温 度	5°C～45°C (結露無きこと)
湿 度	20%～80%RH
本 体 寸 法	220×170×40mm (奥行×幅×高さ)
本 体 重 量	約 440g
適 合 認 定 番 号	A01-0135JP

8. クイックガイド

- ・ テイク3 ブライトで使用するボイスワープの設定操作方法です。
切り取り線で切り取って、電話機などの近くに置いてご使用下さい。
(転送先電話番号の空欄は、適切な番号をご記入下さい)

キリトリ

TEL/FAX 自動回線切替装置 TAKE3 BRIGHT ボイスワープ設定操作方法

転送を開始する

動作 電話/FAXの着信をテイク3 ブライトが切り分け、電話着信の場合のみ指定した転送先電話番号へ転送を行います。

操作方法

受話器を上げ、 * 9 9 9 9 とダイヤルします。

続けて、 * # 2 0 1 とダイヤルします。

最後に、 2 # とダイヤルして、受話器を置きます。

転送を停止する

動作 テイク3 ブライトのボイスワープ設定を解除します。

操作方法

受話器を上げ、 * 9 9 9 9 とダイヤルします。

続けて、 * # 2 0 1 とダイヤルします。

最後に、 1 # とダイヤルして、受話器を置きます。

ボイスワープの転送先電話番号の登録

動作 ボイスワープ有効時に転送される転送先電話番号の登録を行います。

操作方法

受話器を上げ、 * 9 9 9 9 とダイヤルします。

続けて、 * # 2 0 0 とダイヤルします。

次に転送先電話番号を入力します。

□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

最後に、 # を押して、受話器を置きます。

LET'S

株式会社 **レッツ** コーポレーション

本社：〒460-0002 名古屋市中区丸の内2丁目6-10
レッツ丸の内本社ビル
TEL (052) 201-6230
FAX (052) 201-5050

東京営業所：〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目19-3
銀座竹葉亭ビル6F
TEL (03) 3546-0889
FAX (03) 3546-0941

インターネットホームページ <http://www.lets-co.co.jp/>
サポート Eメール support@lets-co.co.jp